
－ 0 － 八九

たかぴょん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一〇一八九

【Nコード】

N8405F

【作者名】

たかぴょん

【あらすじ】

読んでみてくれればわかるよとにかくなんでもかまわないので評価書いていただければうれしいな

登録ナンバー〇一八九、山波俊雄。幽霊が、やっと見つけた電話ボックスに入り、チノパンの右ポケットに入っていた携帯電話から掛けた。街中の雑音も遮断出来るので、山波はいつもそうしている。いちおう仕事の口頭契約だ。しやれたカタカナの派遣会社名で、いつでも好きな空いた時間に働けますとさり気なく掲載されていた。そんな街中で配られるフリーペーパーには、誘発的な文章が踊っている。花火倉庫に静電気に制覇されたセーターで入り、踊り狂うほど危険な文句だ。

誰かが電話ボックスの扉を押し開けようとしている。だが山波は全身の力を振り絞って足先と両手で力量をあべこべのベクトルへ反らせた。三十歳を超えたばかりの山波は自分自身が「幽霊」であることを思い出す。なおさら力が全身から沸き立つ。学生風の開け人は何かたんかを切ったあと、何かをした。彼の失態した行動をここに書き記せないのは、やたら商業宣伝に汚染された現代の言葉で表現するのには忍びなかったからだ。彼は〇〇したあと、どこかへ消えて行った。

山波は「明晩八時より翌々朝七時、武蔵野市吉祥寺デパート（仮）内装現場雑工」との有り難い生計の指南を得た。噂ではその現場は一月近く春物への模様替えと地下食料品売り場の拡張作業に入っており、作業自体はほとんど待機で寝ているだけという美味しい現場だ。山波はサングラスとニット帽を忘れないようにと確認した。カモフラージュしなければ昔テレビで見た真つ暗闇に行く「銀河鉄道の手帳」のように大変なことになってしまう。真実かどうかは想像に任せる。

ちなみに山波は戸籍上は死んだことになっている。火災保険の配

当金を受給するために、平成十年夏に家庭裁判所から失踪宣告を出してもらった。だから山波は自らを幽霊となつて、一生を生て行くことと決心した。

幽霊になつても携帯電話があるので、居場所はすぐ張れてしまう。身を隠し黄昏る気分も味わえない。ブーブーとバイブレーション機能が鳴り響く。山波は今、ここにいる。気持ち悪いのでプレイベートを突き放し「はい、もしもし」と出る。現代に幽霊は存在しない。人生最大の指南を得た。

やがて明日の晩、内装現場はほこりだらけであつた。売り場へほこりを出さないよう、ビニールの壁を作っているので暑苦しい。石膏ボード解体に、地獄のようなほこりが出た。マスクをしていても、鼻の中は真っ黒だ。大震災にでもあつたように、壁は破壊され軽鉄が出て来た、それも折る。それらを殻袋に入れトラックへと運ぶ。単調な作業を日の出が顔を見せるまで繰り返すやる。

明日渋谷周辺に現場が決まっているので漫画喫茶に泊まる。ちなみに最近日雇いバイトのネットカフェ難民が巷を騒がせているが、山波はもともとこんな生活をしているので、言ってみればその方の元祖である。

一〇一八九、山波俊雄。作業終了。

「わたしが壊した壁が無くなり、新しい壁にわたしの手垢が付いている。大きな着飾った外国人モデルのポスターが目立つ。仲睦まじい家族連れや着飾った若者たちは、飾られた店内をかつぽする。わたしの手垢で作られた壁や柱に飾られて、お客様は優雅な気分には布のひもを緩める。そこにわたしはもういない」

手垢の仕事。そこには「ほこり」すら無い。あるのは今このわず

か二畳の暖かい空間で、インターネットやテレビ、マスターベーションを楽しむ。鍵さえ止め掛けフックで出来ている。あまり有頂天になるな。パーティーション一枚隔てて、騒音が筒抜け。

明日も半日ぐらいで早上がり出来ることを祈りつつ、登録ナンバー00189は休息に入ることにした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8405f/>

－ 0 －八九

2010年12月31日19時10分発行